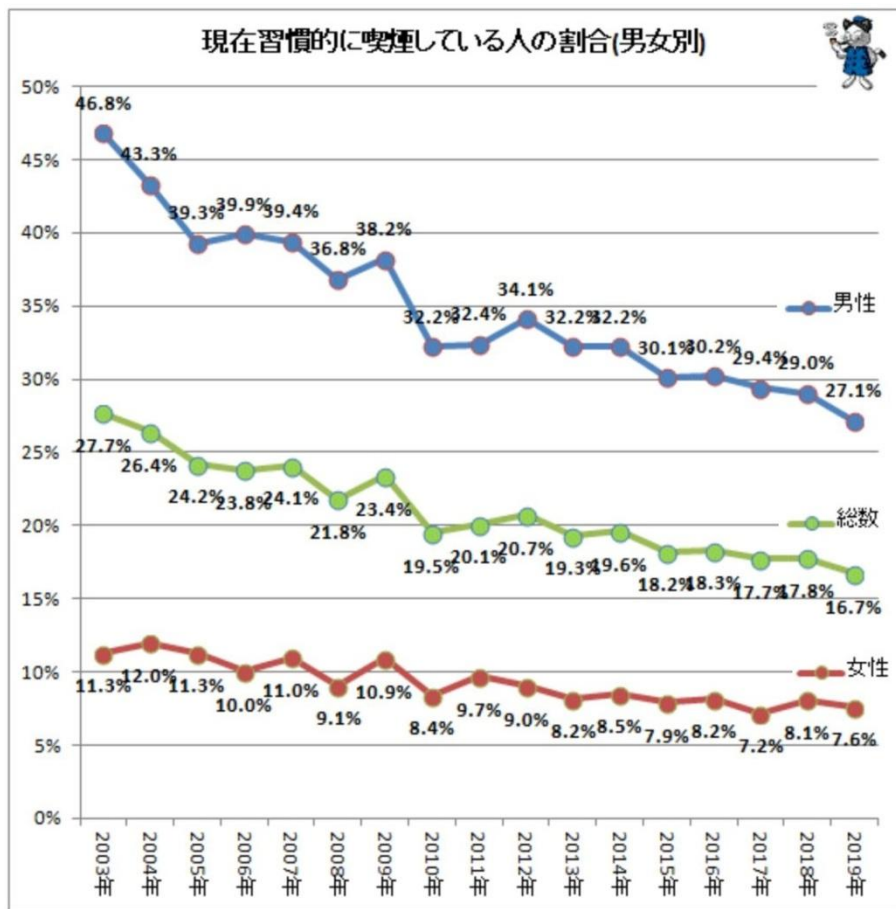


週刊 **タバコの正体**



最近、タバコの煙を目にする機会がずいぶん減りました。それもそのはずで、厚生労働省が発表した令和元年度の「国民健康・栄養調査結果の概要」によると、グラフのように喫煙率が毎年確実に減少しています。

かつては男性の半数近くが喫煙者でしたが、2019年には27.1%となり3人に一人しかタバコを吸わなくなりました。女性も合わせると成人全体の喫煙率は16.7%なので、喫煙者は5人に一人しかいない訳です。

そして、下の年代別の喫煙率を見てください。40代の喫煙率が高く、70代になると急に低くなっています。これは喫煙者の平均寿命が非喫煙者より10年短いとされているからだろうと思われます。

それとは別に、20代の喫煙率が低い事に注目して下さい。皆さんのようにタバコの有害性を知っている現在の若者は大人になってもタバコを吸わなくなっている事がわかります。この傾向はさらに加速するでしょう。

「タバコを吸うのはめずらしい」時代を迎えつつあります。

産業デザイン科 奥田 恭久

